



2022年11月10日

各 位

会 社 名 びあ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 矢内 廣  
(コード：4337、東証プライム)  
問合せ先 専務取締役コーポレート担当 吉澤保幸  
(TEL. 03-5774-5320)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年8月12日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 35,000	百万円 700	百万円 400	百万円 950	円 銭 62.47
今回修正予想（B）	35,000	800	600	1,300	85.20
増減額（B-A）	0	100	200	350	—
増減率（%）	0	14	50	37	—
（ご参考）前期実績 2022年3月期	25,829	△833	△845	△1,122	△74.15

#### 2. 業績予想の修正理由

第2四半期におきましては、集客エンタテインメント市場のコロナ禍からの回復基調により、第1四半期に続き、チケット販売や興行の主催、アリーナの稼働率等が好調に推移しました。加えて、営業外収支においては、関係会社の持分損益が改善し、キャッシュ・フローの良化により借入金の返済が進捗し、支払利息が減少しました。また、繰越欠損金の控除上限の特例措置の適用が認められたことにより、対象となる繰越欠損金の繰延税金資産を計上することが可能となり、親会社株主に帰属する当期純利益を改善する効果が見込まれます。

こうした概況をふまえ、2022年8月12日に公表しました通期連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において前回発表予想を上方修正することといたしました。

なお、売上高につきましては、新収益認識会計基準の適用により、主にチケット売上高の認識額が従前の取扱高から販売手数料となっているため、修正はありません。「収益認識に関する会計基準」を適用しなかった場合の売上高では、1,600億円規模を見込んでいたものが、今回1,800億円を上回る規模への増加を見込みます。

（注）本資料に記載されている業績等の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値とは異なる場合があることにご留意下さい。

以 上